



# 弘前医療福祉大学紀要

*Journal of Hirosaki University  
of  
Health and Welfare*

第8巻 第1号  
2017年3月発行

弘前医療福祉大紀要  
J. Hirosaki Univ. Health Welf.

弘前医療福祉大学紀要編集委員会

## 第8巻第1号紀要発行に寄せて

弘前医療福祉大学

学長 下 田 肇

「真実を探している者を信じよ  
真実を見つけた（という）者は疑え」

アンドレ・ジッド フランスの小説家

現代の社会において反知性主義が拡大しているようです。学歴・知識などの価値を認めず、すなわち客観性や実証性に対して信頼をおかず、自分の生活の価値観を信頼し、自分の望むように世界の事象を解決する傾向であると考えられます。

学問をすること、研究するということは、反知性主義的な事柄に対していかに反論させていくことが出来るかにつながりましょう。

あるいは学問をすること、研究するということは、

「ある真実を教えることよりも  
いつも真実を見出すには  
どうしなければならないかを  
教えること—考えること」

ルソー フランスの哲学者

を目的にしているといえます。その目的のために論文を書くという作業は極めて重要であると考えます。

さて、第8巻第1号の発行にあたり今回よりその内容をより充実させるために、一般論文のほかに特集として、公開講座の内容や当大学の教員の研究活動（学会発表や研究成果の小論文等）を紹介するコーナーを設けております。また、外部資金や学長指定研究のテーマもあわせて掲載することになっております。

紀要を通して本大学の研究活動を広く学内外に伝え、その内容の充実、質の高さを知っていただくことは大いなる意義があります。

今後もふるって紀要に多くの論文を発表することによって研究活動への意欲向上に寄与して欲しいと希望します。

# 目 次

紀要発行に寄せて	弘前医療福祉大学学長 下 田 肇	
[総 説]	正常、手術対照、松果体除去ラット副腎髄質の計量細胞学的研究 —とくに日内およびアドレナリン細胞・ノルアドレナリン細胞間差異との関連 2. 考察、とくに核、指示細胞と分化について 加地 隆	1
[原 著]	青森カシス ( <i>Ribes nigrum</i> L.) の葉の植物化学的分析とカテキン類の抗酸化作用について 長岐 正彦、後藤 嘉文、葛西 愛美、工藤 重光	15
[原 著]	作業療法学専攻学生のコミュニケーション・スキルにおける学年間の差 千葉さおり、佐藤 彰博、浅田 一彦	25
[原 著]	作業療法学生に対する死生観教育の効果検証 針替 明世、藤原 健一、岸 育映、福士 尚葵	31
[原 著]	認知症高齢者における情動と認知の関係 —MESE, MMSE 検査, NPI-Q などからの相関分析— 小池 妙子、平川美和子、工藤 雄行、高 祐子、大沼 由香、磯本 章子、 岡田 康平、三上えり子、寺田富二子	39
[原 著]	地域包括支援センターのネットワーク構築に関する課題 —運営主体別三職種の認識の比較— 大沼 由香、小池 妙子、富田 恵、工藤 雄行、中村 直樹、寺田富二子	47
[研究報告]	看護学生が日常生活援助の視点を養うプロセス —日常生活経験と看護の学びにおける認識変容に着目して— 須藤みつ子、平川美和子	59
[特 集 1]	報告・公開講座 公開講座「お口のケアと健康寿命」 木村 博人	69
	公開講座「オリゴ糖を加えたアルコールでスキンケア」 蓮井 裕二	73
	公開講座「こころと体の不思議な関係 —イメージを利用したリハビリテーション—」 成田 秀美	75
[特 集 2]	研究紹介 弘前医療福祉大学 研究活動紹介 (平成27年10月～平成28年9月)	79
紀要規程・投稿要項		89
編集後記		
紀要編集委員会委員		

## 弘前医療福祉大学紀要規程

### (目的)

第1条 弘前医療福祉大学（以下「本学」という）における紀要の名称を「弘前医療福祉大学紀要」Journal of Hirosaki University of Health and Welfare (ISSN 2185-0550) とし、以下「紀要」という。

紀要は本学における研究成果発表を目的として、定期的に刊行される。

### (発刊)

第2条 紀要の発刊は原則として年1回とし、本学紀要編集委員会（以下「委員会」という）がその任にあたる。委員会の委員は教授会の議を経て選出され、任期は原則として2年とする。

2 紀要は、発刊前年度の10月1日から発刊年度の9月30日までに投稿された論文を一号として刊行する。

3 発刊期日は原則として発刊年度の末日までとする。

### (投稿資格者)

第3条 紀要への投稿資格者は、次のとおりとする。

- 1) 本学専任教員
- 2) 第一号の共同研究者。但し、筆頭著者は本学専任教員とする。
- 3) その他、委員会が適切と認めた者

### (受付・査読・採否)

第4条 投稿原稿は他誌に未掲載で且つ投稿中ではない論文に限る。

2 投稿原稿は各学科の委員を経て随時受け付けられ、委員会は預かり証を発行する。

3 預かった論文のうち短報以外はすべて第三者に査読される。査読後、委員会は投稿論文の種類・内容・体裁について修正を求めることがある。

4 論文の採否は委員会において決定され、その結果は書面で通知される。

### (著作権)

第5条 掲載論文の著作権は本学に帰属し、論文の電子化は了承されたものとする。

但し著者が当該論文を利用する場合は本学の許諾を必要としない。

### (経費負担)

第6条 投稿原稿が規定の枚数を超過した分については、著者の負担とする。

2 初校の際には別刷の必要部数を委員会に申告するものとする。

3 別刷は10部まで共通経費負担とし、それを越えた分は著者負担とする。

### (倫理的配慮)

第7条 投稿論文は、倫理的配慮がなされ、且つその旨が本文中に明記されなければならない。

### (その他)

第8条 論文の投稿要項に関しては、委員会が別に定める。

附則 本規程は2009年7月16日から施行する。

本規程は2013年5月21日から施行する。

## 弘前医療福祉大学紀要投稿要項

### 1. 投稿論文

投稿論文は他誌に未掲載で且つ投稿中ではない和文及び英文の総説、論説、原著、研究報告、研究ノート、短報、その他とし、随時受け付ける。

### 2. 論文の種類

他誌に未掲載で投稿中ではない以下①-⑦の論文を受け付ける。

尚、①-⑤は査読があり、⑥⑦は査読なしとする。

- ① 総説：ある主題に関連した研究の解説、総括
- ② 論説：主題に関する理論の構築、展望、提言
- ③ 原著：独創的な研究により、新しい知見、理論を示した論文
- ④ 研究報告：研究上の問題提起、興味深い事実や実態・事例・症例に関する論文
- ⑤ 研究ノート：論文としては未整理であるが、すぐに知らせる意義のある研究
- ⑥ 短報：教育実践報告、研修報告、国際学会、セミナー報告
- ⑦ その他：委員会が必要と認めたもの

### 3. 投稿資格者

- 1) 本学専任教員
- 2) 1) の共同研究者
- 3) その他 委員会が適切と認めた者

### 4. 倫理的配慮

人および動物を対象にする研究では、倫理的に配慮し、その旨を本文中に明記する。

研究が適切に行われたことを示すため、「本研究は弘前医療福祉大学研究倫理規程に沿って行われた」、英語論文の場合は“The study was performed in accordance with the Rules for Ethics of Study, Hirosaki University of Health and Welfare.”と文中、または文末に明記する。

## 執筆・投稿要領

### 1. 原稿の構成と表記

- 1) 原稿はA4版、10ポイントで1枚につき40字(英字・数字は半角)×40行 横書きとする。

原著、研究報告、総説、論説は10枚(16000字)以内とし、研究ノート、短報、その他は5枚(8000字)以内とする。但し、図表1枚は800字(半枚)分に数えるものとする。欧文の場合にはA4版、ダブルスペースで1枚につき26行でタイプする。

欧文は必ずnative speakerによる校閲を受けたものであること。

- 2) 表紙には論文題名、著者名、所属および所在地(希望するならe-mail アドレスも)を和文と欧文の両方でそれぞれ明記する。さらに本文枚数(引用文献、要旨を含む)、図、表、写真、図表の説明文などの枚数を記載し、最後に論文の種類:「原著」(例)のように明記する。2枚目には600字以内の和文要旨とキーワード3-5語、3枚目には300語以内の英文要旨とkeywords 3-5語を記す。

- 3) 図表の使用は最小限にとどめ、「図1」、「表1」、「写真1」等 それぞれの通し番号をつけ、本文とは別に一括する。

これらの挿入希望場所を本文原稿右余白にそれぞれ指定する。図、表、写真については印刷時の大きさを明記する(例:原寸、70%、50%など)。

- 4) 外国の人名、地名に原語を用いるほか、叙述中の外国語にはできるだけ訳語をつける。
- 5) 注は脚注として最小限にとどめる。

### 2. 文献記載の様式

- 1) 文献は、本文の引用箇所の肩に1)-3)と表し、最後に一括して引用順に掲げる。
- 2) 文献は、“引用”や“参考”をつけず、「文献(References)」として扱う。

3) 文献の記載方法・順序

〈雑誌〉著者名：表題名. 雑誌名. 巻(号)：頁-頁, 発行年

〈単行本〉著者名：論文題名. 書名(版表示). 編者名. 頁-頁. 発行地：出版社. 発行年

〈訳本〉著者名：論文題名. 書名(版表示). 編者名. 訳者名. 頁-頁. 発行地：出版社. 発行年

3. 投稿の際の提出書類

1) 原稿：表紙、和文要旨、英文要旨、本文、図表

(総説・論説・原著・研究報告・研究ノート・短報 ともに1部、査読を要するものについてはコピーを2部提出する。コピー2部については、著者名、所属、謝辞ほか著者を特定できるような事項を削除する。)

2) 紀要原稿提出書と原稿受領書をセットで提出する。(大学共有ファイル内)：連絡先(氏名、住所、電話番号、メールアドレス)と別刷希望部数を記入する。

3) フロッピーディスクまたはCD(1枚)；ソフトはワードとし、ファイル名を「本文」「和文要旨」「英文要旨」「図1」などとする。但し、提出は論文受理後とする。

4. 謝辞、大学の正式な英語名等について

1) 学長指定研究等は謝辞に記載する。

例

「本研究は弘前医療福祉大学学長指定研究により行われた。」

英文の一例を記載する。

This article was partially supported by a grant for designated research provided by the President of Hirosaki University of Health and Welfare.

2) 大学などの正式な英語名および省略形を使用する場合の参考例を記載した。

弘前医療福祉大学

Hirosaki University of Health and Welfare ..... Hirosaki Univ Hlth & Welf

保健学部

School of Health Sciences ..... Sch Hlth Sci

看護学科

Department of Nursing ..... Dept Nursing

医療技術学科

Department of Rehabilitation Sciences ..... Dept Rehabil Sci

作業療法学専攻

Division of Occupational Therapy ..... Div OT

言語聴覚学専攻

Division of Speech-Language-Hearing Therapy ..... Div ST

5. その他

1) 著者校正は原則として一校までとする。校正時の大幅な追加、修正は原則として認めない。

2) 別刷は10部まで共通経費による負担とする。

# 編 集 後 記

弘前医療福祉大学紀要編集委員会  
委員長 長 岐 正 彦

今年の弘前の冬は積雪が多いと思っていましたが、次第に日差しが強くなり春の足音が近づいているように感じます。一步外に目を向けますと、トランプ政権誕生や豊洲市場移転問題等のニュースが報じられるこの頃ですが、本学でも一年が慌ただしく過ぎてこの時期になってやっと、紀要第8巻をお届けすることができます。今回は学長より巻頭言を戴きました。

論文の内訳は、総説1、原著5、研究報告1の7編です。これに特集として本学の公開講座、および本学教員の研究活動（平成27年10月～平成28年9月）を紹介するコーナーを設けました。

この1年間、県内外の実習施設に赴いての実習指導をはじめ、卒業研究（課題研究）指導や国試対策の指導など、日々多忙を極める中で、研究成果を纏め投稿された先生方に感謝いたします。

今年も、国試が終わり、まもなく5回目の卒業生が巣立っていかうとしております。どの地へ行っても、これまで培ってきた本学のホスピタリティー精神を忘れないで頑張ってくれると信じております。

さて、人口減少時代を迎え、大学の定員割れなどが心配される昨今、本学の教育面だけでなくスタッフの研究活動をアピールすることは、本学の認知度を高め、地域で選ばれる大学になるためにも欠かせないことであり、教員がこれから研究活動をするうえで意欲を持つことにも繋がると考えて特集を組みました。

弘前医療福祉大学  
紀要編集委員会

委員長	長岐正彦
副委員長	氏田直子
委員	三浦秀春
委員	佐藤厚子

---

Journal of Hirosaki University of Health and Welfare

弘前医療福祉大学紀要

第8巻 第1号

平成29年3月31日発行

---

編集・発行 〒036-8102 弘前市小比内3-18-1  
弘前医療福祉大学内 紀要編集委員会  
TEL：0172-27-1001

印刷所 〒036-8061 弘前市神田4-4-5  
やまと印刷株式会社  
TEL：0172-34-4111 FAX：0172-36-3299

---

Contents

[Foreword]

Message from the President

**Hajime Shimoda**

[Review]

Quantitative cytological study on the adrenal medulla in normal, sham-operated and pinealectomized rats, with special reference to time-of-day and differences between adrenaline cells and noradrenaline cells.

2. Discussion, especially on nuclei, supporting cells and differentiation

**Takashi Kachi** ..... 1

[Original]

Phytochemical Analysis of the Leaf of the Blackcurrant (Aomori Casis) "*Ribes nigrum* L." and the Antioxidant Effect of Catechins

**Masahiko Nagaki, Yoshifumi Goto, Manami Kasai, Shigemitsu Kudo** ..... 15

[Original]

Difference of communication skills in the grade-based of Occupational Therapy Students

**Saori Chiba, Akihiro Sato, Kazuhiko Asada** ..... 25

[Original]

The Effectiveness of Views of Life and Death Education for Students in the Division of Occupational Therapy

**Akiyo Harigae, Kenichi Fujiwara, Ikue Kishi, Naoki Fukushima** ..... 31

[Original]

The relationship between emotional and cognitive functions in elderly people with dementia:

Correlation analysis utilizing MESE, MMSE and NPI-Q

**Taeko Koike, Miwako Hirakawa, Yuko Kudo, Yuko Taka, Yuka Onuma, Akiko Isomoto, Kouhei Okada, Eriko Mikami, Fujiko Terada** ..... 39

[Original]

Awareness in Comprehensive Community Support Centers Regarding the Construction of Support Networks

– Comparison of recognition of three job categories in two different management systems –

**Yuka Ohnuma, Taeko Koike, Miwako Hirakawa, Yuko Kudo, Yuko Taka, Yuka Onuma, Akiko Isomoto, Kouhei Okada, Eriko Mikami, Fujiko Terada** ..... 47

[Report]

The Process of Development of View for Daily Lives Care of Nursing Students

– The Cognitive Transformation in Experience of Daily Lives and Study of Nursing –

**Mitsuyo Sutoh, Miwako Hirakawa** ..... 59

[Other Report]

Extension: Oral Care and Healthy Life Expectancy

**Hiroto Kimura** ..... 69

Extension: Skin Care with an Acidic Alcohol Containing Functional Oligosaccharides

**Yuji Hasui** ..... 73

Extension: Mysterious Relationship between Mind and Body

**Hidemi Narita** ..... 75

[Special Feature]

Research Activities ..... 79